

# 2003年10月の日本の天候

## 少雨・多照 (西日本)

### 10月の天気概況

月全体としては天気は数日の周期で変わり、晴れる日が多かったが、大雨や強風となる日もあった。また、気温の変動が大きく、上旬には北日本中心に、月後半は西日本中心に寒気が入った。上旬は北～西日本では高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、南西諸島では天気がぐずついた。中旬前半には発達しながら通過した低気圧に伴って、東・西日本を中心に大雨や強風となった。下旬初めにも深い気圧の谷の通過に伴って北日本などで大雨となった。

**上旬：**月初めに寒冷前線が通過した後、日本付近は帯状の高気圧に覆われ、晴れる日が多かったが、北日本中心に強い寒気が入った。旬後半は、東日本の太平洋側で天気がぐずつき、南西諸島でも前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が多かった。**旬平均気温**は、北・東日本で低く、西日本で平年並、南西諸島で高かった。**旬降水量**は、南西諸島で多く、北日本日本海側で平年並、その他は平年より少なかった。**旬日照時間**は、南西諸島で少なく、東・西日本の太平洋側で平年並、その他は多かった。

**中旬：**旬前半は本州南岸に前線が停滞し、12～13日には低気圧が発達しながら日本付近を通過し、南から暖かい湿った空気の入った東・西日本を中心に大雨や強風となった。その後、強い寒気が南下し、気温の変動が大きかった。18日に低気圧が日本の北を通過し、北日本の日本海側を中心に雨が降った。**旬平均気温**は、全国で平年並だった。**旬降水量**は、東日本と西日本の太平洋側で多かったほかは平年並だった。**旬日照時間**は、東日本の日本海側で多かったほかは平年並だった。

**下旬：**21～23日に日本海と本州南岸を低気圧が通過し、北日本などでは大雨となった。その後、西日本に再び寒気が入ったが、北日本では逆に高温傾向となった。26日には台風第17号が関東南東海上を北東進したが影響は少なかった。28～29日に気圧の谷が通過し、北・東日本で雨となった。**旬平均気温**は、北日本と東日本の日本海側で高く、その他は平年並だった。**旬降水量**は、東日本の太平洋側と西日本、南西諸島で少なく、その他は平年並か多かった。**旬日照時間**は、北・東日本で平年並、西日本と南西諸島で多かった。

### 10月の気候統計

**平均気温：**気温の変動は大きかったが、月平均気温をみると、多くの地点で平年並であった。細かく見ると、北日本の一部で平年を上回ったが、その他の地域では平年を下回ったところが多かった。

**降水量：**北日本の日本海側で平年を上回ったほかは平年を下回ったところが多かった。佐世保(長崎県)では10月の降水量が0.5 mm(平年値88.6 mm, 平年比1%)となったほか、広島でも1.5 mm(平年値95.4 mm, 平年比2%)となるなど、西日本の一部で平年の10%以下となったところがあった。松江(島根県)、鳥取、米子(鳥取県)、広島、呉(広島県)、萩、山口(山口県)、厳原、平戸、佐世保、福江(長崎県)の11地点で10月の月降水量の最小値を更新した。

**日照時間：**北海道の一部、東日本の太平洋側の一部で平年を下回ったところがあったほかは、平年を上回った。特に東日本・西日本の日本海側、南西諸島では、平年の120%以上となったところがあった。新庄(山形県)、福岡、佐世保(長崎県)、佐賀、日田(大分県)、名護(沖縄県)の6地点で10月の日照時間の最大値を更新した。

(気象庁観測部統計室)

### 10月の記録 (1位更新のみ)

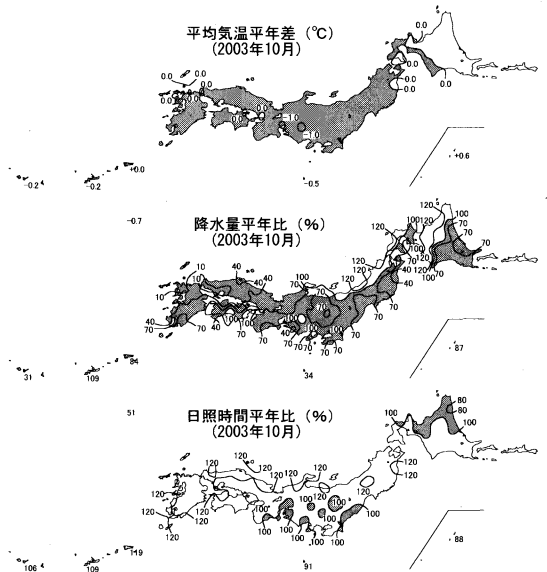
#### ・月降水量少ない方から (mm)

松江	49.0	米子	37.0	鳥取	50.0
萩	18.0	広島	1.5	呉	9.5
山口	4.5	厳原	5.0	平戸	4.0
佐世保	0.5	福江	5.0		

#### ・月間日照時間多い方から (時間)

新庄	132.9	福岡	230.8	佐世保	241.6
佐賀	245.2	日田	216.4	名護	193.4

### 2003年10月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す